

区民の皆様へ

三輪地区



# 住民自治協議会だより



第58号

令和5年3月1日発行

発行者 三輪地区住民自治協議会会長 伊倉 文明  
事務局 三輪公民館内 電話 225-9567 FAX 225-9647  
E-mail: miwa.jichikyo@theia.ocn.ne.jp  
H P: https://www.miwajichikyo.com



## 健康・福祉部会

### 住民福祉大会 ～三輪のつどい～

健康・福祉部会 副会長 平出 勲

令和4年度第8回三輪地区住民福祉大会～三輪のつどい～は、11月25日（金）に第一部表彰、第二部講演会という内容で開催されました。

第一部表彰では、表彰規程に従って長年にわたって地域福祉活動に貢献された2名の方が表彰されました。本郷区より推薦された平林シカイさんは、「子どもと親の育ち合いサロン」「オレンジカフェ」の代表として、親子の触れ合いはもとより親同士の親睦を深める手助けを、また認知症の方と介護する方が共に学び安心して暮らせる三輪地区をめざされて活動されました。

もうひとりの相ノ木東区より推薦された山崎壽美雄さんは相ノ木東区の区長など町内会役員・美和公園愛護会会長等を歴任された傍ら、家庭のゴミ・資源集積所の管理運営・環境美化に多大な貢献をされました。

第二部は、「子どもたちのために私たちの食生活を考えよう」という演題で弁護士（元農林水産大臣）の山田正彦氏が講演されました。私たちは知り得た情報の中でより安全な食料品を食べて生命を維持している。ところが、私たちの知らない所で生命を脅かし、健康を害する危機的な状態が食生活に進行している。これまでの日本の主食コメ・麦・大豆の在来種は、種子法によって国が管理し各都道府県に優良品種の選定・奨励・審査を義務付けてきた。しかし、種子法がなくなると当たり前のように食べてきたものが食べられなくなる。もうすでに70種類の遺伝子組み換えの一般圃場での試験栽培を認めている。いずれ本格的な栽培が始まる恐れがある。また飼料用米としてゲノム編集が用意されており、人の命、健康に深刻な危害をもたらす。これからの食生活の安全NonGMO・オーガニックの食品に切り替えていかなければいけない。子どもたちの給食を有機食材にする取り組みも始まっている。

世界の流れは有機・自然栽培及び非遺伝子組み換え農産物が主流になるように動いている。日本も遅れを取らぬよう急進的に進めてもらいたいものである。

#### <私たちに知らされていないこと>

- ・日本の粉ミルクにも遺伝子組み換え原材料が含まれている。
- ・癌発症リスクの除草剤が日本では野放しになっている。
- ・通級指導を受ける児童生徒が過去最大になった。発達障がいの子どもの増えたことが通級指導の認知度の向上が背景にあるとみている。（遺伝子組み換え食品、農薬等が影響している）



## 総務(区長)部会

### 地域間交流／視察研修／防災研修会

総務(区長)部会 部会長 小林 博

#### ○地域間交流(四ツ石区長 大月 光弘)

事業の目的は中条地区において、年々遊休農地に竹が繁茂し、雪の重み等で竹が道路に倒れ車両走行の妨げや有害鳥獣の繁殖の原因となっているが、高齢化が進み労働力が不足していることから伐採処理が進まず苦慮している。そこで三輪地区は中条地区と協力して、竹林の伐採整備を令和2年から始め、春には伐採整備と竹の子(淡竹)の収穫、秋には伐採整備で多くでる竹材を焼却し「焼き芋」作り等で交流を深めることができました。



#### ○視察研修(本郷区長 小林 博)

総務(区長)部会として、3年ぶりの視察研修を10月27日(木)に実施しました。今回は中条地区にある、ジビエ加工センターとしては最新の設備を備えた、長野市ジビエ加工センターと、災害時対応について、先進的取組をしている、白馬地区の2地域を訪問させていただきました。



#### 「長野市ジビエ加工センター」

当該センターができるまでは、捕獲されたほとんどが埋設処理されていた物が加工肉として有効活用されるようになったことで、県内各地との交流が生まれたそうです。地域内で生まれた営みがネットワークを広げていくことを目の当たりにしました。

#### 「神城断層地震復興ツーリズム」

糸魚川-静岡構造線活断層の一部である神城断層に沿って起きた、マグニチュード6.7の地震により、白馬村では重傷者8名を含む負傷者46名、全壊81棟を含む住宅被害が2,146棟にあがりました。しかし、深夜の大規模地震にかかわらず、人的被害を最小限に食い止めることができたのは、地元の地域防災力であり、地域防災の中核を担っ



ている消防団及び自主防災組織の活動があったからこそ、共助の奏功事例といわれています。三輪地区でも、それぞれの地区で自主防災の組織を作ってはいますが、組織が組織として十分機能しているとは言い難いのが現状だと思います。今一度地区の組織の見直しと、防災訓練等日頃の防災の備えを見直し、より有効なものにしたいと区長一同思いを新たにしました。

#### ○防災研修会(相ノ木西区長 長澤 一男)

11月8日(火)「地域の防災力をアップしよう」というテーマで、長野県危機管理防災課の太田防災指導員を講師に招いて、大規模地震発生時に区長など区役員の果たすべき役割を再認識するため、防災研修会を実施しました。講師からは防災グッズの備蓄、避難経路の明確化や安全確認など日頃からの「災害の備え」はもとより、大地震発生時には何よりも自主防災組織や近所同士の協力・助け合いが不可欠との話がありました。そうした、いざという時の人のつながりを支えるためには、日頃の近所付き合いや自治会活動の積み重ねが大切だと改めて感じさせるよき機会となりました。



## 安全・安心部会

### 自転車運転啓蒙と防犯研修会

安全・安心部会 部会長 小林 雄一

#### ○自転車通行啓発活動

11月9日（水）相ノ木通りを学生さんが自転車での通行をできるだけ利用しないように、中央警察署の本田さん他、三輪・柳町交番の所長さん、県立大学、女子高校、女子短大の職員及び安全・安心部会員が県立大学～横山公園においてチラシ等を配りパトロールをして啓発活動を行いました。三輪老人クラブ連合会、交通安全協会の協力もいただき、よりいっそうの交通安全を願いました。



#### ○防犯研修会

11月16日（水）代表制で三輪公民館3F大ホールにて防犯（特に特殊詐欺について）講習会を行い、参加者は約50名でした。中央警察署の佐藤さん、瀧沢さん、三澤さんによる防犯特殊詐欺の講演、人形劇によってより深く学び、詐欺に打ち勝つための良き勉強になりました。今後とも続けられればと思います。



## 環境美化部会

### 環境美化部会研修会

環境美化部会 部会長 八木 清登

11月12日（土）社団法人長野県環境保全協会 地球温暖化防止活動推進センターの堀池政策部長をお招きし地球の温暖についてご講演いただきました。

近年の異常な地球温暖化により生活環境が大きく変わりつつあります。今、地球でなにが起きているのか？ 温暖化防止のために、どんな取り組みをしてゆけば良いのか等のお話をいただきました。日ごろの生活においてエネルギー節約・省エネ取り組み・食品ロスの削減・3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動等の取り組みの必要性を説明いただきました。



## 健康・福祉部会

### 子どもと親の育ち合いサロン 代表 今井 博美

今年度のサロンは、新型コロナウイルスの感染状況をみて、6月にスタート。5か月ぶりの開催に喜びの声。

- 7月 短冊に願いを込めて七夕笹飾り
- 10月 お友達と玉入れを頑張ったミニ運動会
- 11月 ヴァイオリン演奏に親子で聞き入り音色に心癒されるひと時
- 12月 サロンOBの山本さんのピアノ演奏でサンタさん登場!!  
サンタさんからプレゼントをもらい、嬉しいクリスマス会

コロナ禍が続きますが、子ども達のがのびのび遊び、日々頑張るお母さん達が少しでもほっとできる場になるよう願っています。来年度もたくさん笑顔に出会えますように!!



## 親善スマイルボウリングを開催

教育・文化部会 部会長 金井 信幸

名称に「親善」という言葉があるイベントにしては、毎回徹底的に勝負にこだわるプレーが繰り広げられるスマイルボウリング大会が、3年ぶりに開催されました。コロナ感染防止対策を徹底した上で、11月6日(日)、三輪小学校体育館において、106人14チームの参加者が日頃の練習の成果を発揮しました。三輪地区と地域間交流をしていただいている小田切地区の皆さんも参加していただき、久しぶりの対戦を楽しんでおられました。2年間のブランクがあったイベントだったため、企画運営当番の上宇木の皆さんには、手探りの状態で準備をしていただき、たいへんな苦勞を重ねた上でこの大会の成功をおさめることができました。スマイルボウリング自体は、三輪地区の



各町で浸透しており、ルールも多くの方に理解されているようです。しかし、競技の進行にあたっては、スポーツ推進員の皆さんのご協力がなければスムーズに運営されなかったと思います。一つのイベントを開催するには裏方の皆さんの協力があってこそ成り立つことをあらためて認識する機会になりました。近年まれに見る熱戦の結果、優勝は下宇木①チーム、準優勝が返目②チーム、3位は城東チームとなりました。

終了後は、三輪支所2階で小田切地区との交流会が行われました。飲食は伴わなかったものの、両地域の情報交換が活発に行われ、徐々に親交を温める有意義な時間でした。今後も双方の交流が深まっていくことを期待したいと思います。

## ひまわり号が新しくなりました。

平成23年8月から三輪地区で行っている、福祉移送サービスの車両『ひまわり号』が、11年間の役目を終え令和4年12月20日(火)より、新しいひまわり号での運行がスタートしました。この車両は地域たすけあい事業として、地域の皆さんのご協力をいただきながら歩行困難な方の医療機関への通院のお手伝いをしている車両です。移送ボランティアの方々には『新・ひまわり号』のお披露目と操作方法、車いすの乗降方法の講習会を行いました。皆さん寒い中、真剣に説明を聞き、実際に車いすを使い何度も練習をして下さいました。日頃、利用者の方に安心安全に利用していただくため、移送ボランティアの皆さんの気配りはとても有難いです。地域たすけあい事業では移送ボランティアのほか、家事援助ボランティアも常時募集しています。興味のある方はご連絡お待ちしております。

